

調査・研修等計画届出書

令和 7年 7月 17日

瀬戸市議会議長 様

議員名 長江 公夫

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 7年 8月 27日から 8月 28日まで (1泊2日)	
調査先・研修名	第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌	
会場名 (会場所在地)	札幌文化芸術劇場 (北海道札幌市中央区北1条西1丁目)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	テーマ: 地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて (仮) ・ 基調講演 「主権を預かる誇りと責任 (仮)」 元衆議院議長 伊吹文明 ・ パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える (仮)」 ・ 課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告 (仮)」 を通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上に繋げていく。	
議長名の依頼	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先 (名称)
同行者名	馬嶋みゆき 松原大介	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和7年 9月22日

瀬戸市議会議長 様

議員名 長江 公夫

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 7年 8月 27日から 8月 28日まで (1泊2日)
調査先・研修名	第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌
会場名 (会場所在地)	札幌文化芸術劇場(札幌市中央区北一条西一丁目)
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	テーマ:地方議員のなり手不足問題の解決に向けて ・基調講演 「主権を預かる誇りと責任」 元衆議院議長 伊吹文明 ・パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」 ・課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」 を通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上につなげていく。

1. 基調講演 「主権を預かる誇りと責任」元衆議院議員 伊吹文明 氏

(1) 昨今の政治情勢について

- ・総理大臣の解散権により、議員がモノを言えなくなる・・・それは行政権を行使するものに対して遠慮することになるのではないか。
- ・現在の小選挙区制により、自分自身の主張がしづらくなってきている。
- ・憲法改正の議論もあるが、地方自治に関するところも改正の必要がある・・・特に首長の解任等はそうである。また国や県そして市町村の行政権限に関する配分は見直すべきである。

(所感) 総理大臣の解散権については、その法的根拠等について議論があるところでもあり、法的なきちんとした根拠を定めるとともに、もとより専権事項であるが、やはりそこには大義が必要であり、何故解散なのかを国民にも、より丁寧に説明する責任があるものと思います。また地方自治については、中でも地方の権限と役割については早急に地方の自主性を認めるものへと見直す必要があると思います。

(2) 議員に関する制度について

- ・どんな制度にもメリット・デメリットがあるが、議員年金の廃止の影響は大きい・・・引退後等の生活の保障がない現状ではなり手不足は解消しない。
- ・議会関係予算を一般会計から分離して、さらには行政の組織から独立して、二元代表制をより明確にすべきである。

(所感) 議員年金の廃止は、ときの行政改革等の時代の流れの中で決まったものと記憶しているが、地方の市町村でも少なからずなり手不足の現状は続いている。

したがって、現行の年金制度の中で議員の生活保障を考えていくべきものと思うし、それだけの財源の確保をしていくのであれば、例えば非常勤から常勤へなど、議員の仕事の在り方そのものを改めて議論する必要があるものと思います。

2. パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

(1) なり手不足問題について

- ・AI 議員は可能かということが取り上げられたが、やはり生身の人間にしかできないこともあるものの、政策の活発化は図れる。ただし機密情報の取扱いなどの課題もある。

- ・立候補のための休暇についても社会全体の理解を得られていないが、必要であり保険や年金等の課題の解決が必要。
- ・人生経験や社会に対する見識が必要であり、被選挙権に関する教育を考えるために、地域ごとに工夫をしてはどうか。
- ・定数と報酬は相関関係にあるが、適正に議論するために、7人から8人で委員会を構成するのが望ましい。

(所感) 被選挙権に関する議論があったが、若い世代に参画を求めるのも一つの方策であるが、身分や社会保障の制度を整えないとなり手不足は解消しないのであり、いくらAI等のIT技術が進歩しても、人間にしかなしえないことは必ずあるものと思います。

(2) なり手不足問題に関する論点

- ・専門化について、まず可能か不可能かを議論すべきものであり、そのうえで多様性や、何の代表としての役割を期待するかを議論する必要がある。
- ・処遇についても、その職務や位置づけによるものであると思うが、自治体の規模に見合う仕事として市民の理解を得る必要がある。

(所感) その職務と報酬は相関関係の下で考える必要があると思うのであり、特別職の非常勤公務員という立場そのものを見直し、ある程度制約のない常勤職を考えてみてはどうかと思います。

(3) なり手不足問題の解決に向けた提言

- ・人口減少が進む中で地方の事務の増大や専門的人材の確保等に苦慮しており、これからは一律の制度の中では対応しきれないのではないかと、これを適切な形にしていくために地方にその機能を移していくことを検討すべきである。
- ・「ふるさと議員」という制度の導入は可能であろうか。シンクタンク的な立場で持てるアイデアを生かしてもらおう
- ・お金の問題の解決のために寄付や選挙の制度を変えてみてはどうか。
- ・議員力そして議員力を向上することが仕事としての議員の価値が向上することである。
- ・誰でも議員になれる環境を整えること、そして議員活動を知ってもらうこと、何よりも職業としての議員に魅力を感じてもらおうこと。

(所感) 様々な人たちに政治に参画してもらうことが理想であり、そうした環境を整えるのは制度も必要であるが、議員そのものが身近な人たちにとって必要不可欠であり、社会の機能を維持・活性化するために必要な存在であること

を身をもって示すことが大切であると思うのであり、これからもそうした存在であり続けたいと思います。

3. 課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

(1)2011年ごろから話題になりはじめ議論され続けており、議会不要論まで、出始めている。

(2)専門的な知識の習得がやはり必要であり、その気になればなるほど仕事と知識の習得が欠かせない仕事である。

(3)議会に対するファンをいかに増やすか・仕事としての魅力を増すためにも、市民との情報の共有から、共感そしてともに豊かな地域を作り上げていくという気持ちをお互いが持ち続けることが必要である。

(4)様々な年齢層などとの対話を重ねることが基本となるのであり、議会は民意の反映の場であり、多様な意見を尊重しあう場であることを広く知ってもらう努力を怠らないことが大切である。

(所感) 様々な各地の取り組み事例の紹介があり、どれも興味深いものばかりでしたが、議会の側からのアプローチが、なかなか市民に届かないという現状もあるようです。行政の課題にしても議会の課題にしても、時間を惜しまず、目の前にある課題を丁寧にひとつひとつ解決を図るという、当たり前の誰もが納得できる方法で時間がかかるかもしれませんが、着実に進めることが肝要であると改めて感じます。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年 8 月 27 日	新瀬戸	名鉄	片道	大曽根	14.1	km	460	円	円
	大曽根	JR	片道	金山	6.5	km	210	円	円
	金山	名鉄	片道	中部国際空港	35.7	km	910	円	450 円
	中部国際空港	飛行機	片道	新千歳空港	988	km	31,720	円	円
	新千歳空港	JR	片道	札幌	46.6	km	1,230	円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
ホテルマイステイズ札幌駅北口					011-729-4055		18,700 円		
備考欄									

53,680 円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年 8 月 28 日	札幌	JR	片道	新千歳空港	46.6	km	1,230	円	円
	新千歳空港	飛行機	片道	中部国際空港	988	km	23,800	円	円
	中部国際空港	名鉄	片道	金山	35.7	km	910	円	円
	金山	JR	片道	大曽根	6.5	km	210	円	円
	大曽根	名鉄	片道	新瀬戸	14.1	km	460	円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 26,610 円

日付	出発駅	交通手段	片道/往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など

小計 0 円

宿泊費 合計

18,700 円

交通費 合計

61,590 円

鉄道代合計 : 6,070円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

80,290 円